

横浜市議会議員

まるおか

丸岡
いつこ

地域政党 神奈川ネットワーク運動

暮らしと政治をつなぐ
広報紙 No.108

http://aoba.kgnet.gr.jp/

〒227-0062 横浜市青葉区青葉台2-5-10フォーリアヴェルデ301 TEL:045-989-3050 FAX:045-989-3051

神奈川県議会議員

わかばやし

若林
ともこ

ネット・青葉レポート

南本牧廃棄物処分場への 投棄は止まったけれど

いまだに続く 放射能汚染問題



▲ダンパーが次々と荷台から投棄。投棄された容量分の水は処理して外海に排出する。(南本牧最終処分場)

突然の発表と撤回

3月11日の東日本大震災に続いて起こった福島第一原発事故からの放射性物質は、福島県内や近隣に住む方達の暮らしに大きな影響を及ぼしました。そして遠く離れた私たちの住む横浜にも放射性物質は飛散し、今、下水汚泥やゴミ、さらに焼却灰となつて濃縮し、その処理が課題となつていきます。

されました。

南本牧処分場を 緊急調査

9月9日、横浜市は、突然、市内の下水処理施設から発生した焼却灰を国の基準値以内だからとして、横浜市の南本牧最終処分場に投棄すると発表しました。

ネット青葉では、横浜市の南本牧に投棄するという発表後すぐに、丸岡市議、若林県議と共に現地を調査しました。担当者によれば、今回の処理については、外部機関による安全評価検討書が出されているとの事。

南本牧最終処分場は、焼却灰を海に投棄し埋め立てる方式の処分場です。地震や津波による外海への流失など、陸地の管理型の処分場とは異なるリスクがある中で、全国でも例のない処理方法を議会にも諮らず、また、周辺住民への説明もなく進めようとしたことは大きな問題です。結局、1週間も立たずに計画は凍結

しかし、実は「財団法人エネルギー総合工学研究所」への委託であり、その中立性には疑問があります。処分場の構造は、土丹層という水を通しにくい層まで杭を打ち込んで遮水壁により囲ってあります。海を汚染する恐れはないとのことでしたが、今までの水質検査項目にはもちろん放射性物質はなく、現場の担当者にとつても経験のないこと

成瀬クリーンセンターにも 焼却灰

青葉区に隣接する町田市



▲施設敷地内で線量測定



▲成瀬クリーンセンター建物地下に積まれている焼却灰

各自自治体共に、この焼却灰の処理には頭を悩ませていますが、まずは、安全を確保した上での保管が第一です。引き続き、情報の公開と慎重な対応を求めています。

の下水処理施設「成瀬クリーンセンター」の焼却灰からも高濃度の汚染があったことと、近隣にお住まいの方から不安の声があがり、8月1日、現地を調査しました。こちらの処理場でも5月頃に出た最も高濃度の焼却灰は職員にも近づく事を制限し、地下に袋に詰めて保管してありました。

議会傍聴記

推して知るべし？

政治は難しいというか、わからないことだらけ。推して知るべしといつて、わからないままにはしてられない。9月7日(水)本会議の丸岡いづ子市議の一般質問の傍聴にいった。

市会議事堂傍聴者受付で住所、氏名を書いて傍聴券をもらう。券の裏には、「傍聴される方へ」と、いわゆる注意書きがあった。・議場は入れない・酒気帯びはだめ・帽子、マフラー、コート、はち巻き、腕章はだめ・発言、拍手はだめとあった。要するに、意思を示唆するものはだめで、「静かに聞いているだけよ。」というもの。しかし、思わず「そうだ、そうだ」と拍手したくなることがあったが、これをすると、警備の人が飛んでくるそうだ。傍聴券の番号は第70号、その日の70人目のようだ。いつもより多いそうだ。延べ人数なので傍聴席116席(うち車いす席4席)には10人前後しかいなかった。それぞれの人たちの傍聴の動機は？ちよつと興味があった。

このちよつぽな空間のやり取りで、私たちの生活の多くが決まるのかと思うと、私たちの代表の議員に託すものは大きいと感じた。(C・I 榎が丘在住)

神奈川ネットは、 地域政党です。

1984年に青葉区(旧緑区)で、カンパとボランティアの選挙で最初の議員を誕生させて以来、議員は2期8年で交代しながら生活者の視点で発言し、市政・県政の改革に取り組んでいます。

あなたのご意見を
お寄せください

FAX: 045-989-3051